

いりょうの ひろば

Vol.
213
2015.3.25

■1面 肺がん

■2面 新任医師紹介

がん患者サロンたんぽぽ

■3面 地域医療連携

「藤村診療所」

■4面 Come on! Babyツアー

小学校お仕事体験 ほか

肺

はい



2月から高槻病院に赴任しました
呼吸器内科の船田泰弘と申します。
震災の年に医師になつて今年
で20年目です。患者さまに納得して
頂ける医療を心がけています。
今回は診断と治療が日々進歩
している肺がんについてご紹介
致します。

肺がんとは どのような病気か

2010年の厚生労働省の人口動態統計によるとがんによる死者数は年間35万人ですが、その中で肺がんは最多の7万人となっています。現在肺がんは10種類以上に分けられていますが、頻度の高いものは腺がん(過半数)、扁平上皮がん(約3割)、小細胞がん(約1割)、大細胞がん(1割以下)の4種類です。その他はまれです。胃がんや乳がんがほとんど腺がんであることに比べて、肺がんは多彩な顔つきをすることが特徴です。病気の広がりや症状の出方、治療の効きやすさなどもこの種類(組織型)によって少しずつ違います。よって、肺がんが疑われたら、気管支鏡などで病巣から組織を採取して、組織型をはつきりさせることがとても重要です。

肺がんの原因については十分に分かつていませんが、他臓器のが

んと同様に肺の細胞の遺伝子に傷が生じるためと考えられています。喫煙などの有害物質の暴露が誘因となると考えられていますが、特に腺がんでは非喫煙者でも発生します。近年肺がんを引き起こす遺伝子に関する研究が進み、特定の遺伝子に傷のある肺がんに有効な薬(分子標的薬)も開発されています。なお、肺がんでは家系的に遺伝する遺伝子の異常は見つかっていません。

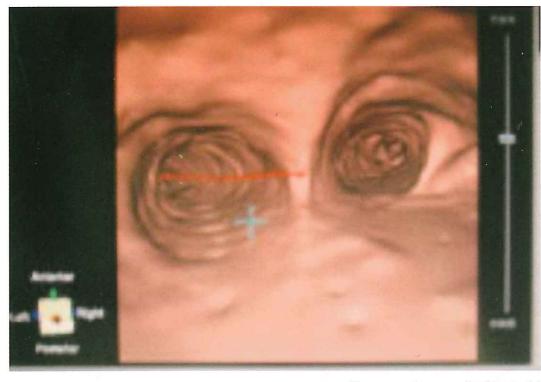
肺がんの 診断について

肺がんは進行すると根治が困難であるため、早期発見が重要です

が、初期症状は咳、痰などの風邪や



呼吸器内科医長
船田 泰弘



ヴァーチャル気管支鏡



気管支腔内超音波断層法(EBUS)

状が多く、また無症状で進行することもあり、早期発見がなかなか難しい病気です。よって、レントゲンやCTによる定期検診や、1ヶ月以上続く咳、痰や血痰を認めたら早めに医療機関を受診するなどの心がけが大切です。もし肺がんが疑われたら、呼吸器内科専門医を受診し、気管支鏡などの精密検査を受けて頂きます。肺は気管支が複雑に枝分かれして、迷路のような構造になつているため、病変の部位によつては気管支鏡で組織を採取することが難しいことがあります。当院ではCT画像から病変への気管支の経路を計算して誘導する装置を使って病変に到達していれるかを確認できる気管支腔内超音波断層法(EBUS)を駆使して、よ

り確実な診断に努めています。肺がんの診断が確定した場合は、PETやMRIなどの検査でがんの広がり(病期)を調べます。

肺がんの治療について

一般的に肺の入り口のリンパ節までがんがとどまつている場合には手術の適応があり、それより奥のリンパ節や胸水および肺以外の臓器への転移がみられる場合には抗がん剤(一部の人には放射線治療の併用)が適応となります。残念ながら手術の適応がないと判断された場合でも、分子標的薬をはじめ新しい薬が登場し、年余にわたり肺がんの進行を抑えることが可能になってきています。また、副作用を軽減する支持療法も進歩し、希望があれば通院で治療が出来るようにもなっています。もちろん実際に年齢や体力、合併症などを勘案して、治療のメリット、デメリットを十分吟味し、患者さんの意思も尊重しながら最適と考える治療(あえて抗がん剤治療をしないという選択肢も含みます)をご提案しています。最近「がんと戦うな」というような極論が巷をにぎわしていますが、まずは責任を持つて親身に相談に乗ってくれる担当医をつくることが大切です。私たち呼吸器内科医にいつでもご相談下さい。

整形外科医師紹介



関節センター副センター長

藤代 高明 医長

4月から高槻病院整形外科および関節センターにて勤務致します
藤代高明と申します。

私の出身高校は府立茨木高等学校であり、学生時代を過ごした地域で働くことを楽しみにしております。

For our team! For our patients! が私のモットーです。整形外科治療は理学療法士や看護師などの医療従事者との連携が重要です。そこで治療チームとして相互に連携を取り、同じ目標を持って患者さんに喜んで頂けるよう努力致します。

私は15年にわたって神戸大学病院にて股関節外科を専門としてきました。特に人工股関節は、MIS(最小侵襲手術)として7~10cmの小皮切で手術し、筋肉を温存し術後の動作制限が必要のない手術を心がけております。何よりこの手術は除痛効果にすぐれ、整形外科手術の中で最も患者満足度の高い手術と自負しております。

また患者さんがまず受診される地域の先生方と連携を取り、先生方に信頼され、また患者さんに向き合う同じチームの一員として地域医療に貢献したいと考えております。そして患者さんに治療方針を十分に説明し信頼関係を築き最善の治療に全力を尽くす努力致しますので宜しくお願い致します。

がん患者サロン たんぽぽ 紹介

がん相談支援センター
田口 真規子



以前よりがん相談支援センターには「同じ病気の患者さんと話したいが、そういう場はないの?」「病気について他の人はどんなふうにしておられるのか知りたい」などのお声が寄せられていました。どうやってその場をつくらせてもらつたらいいかと悩んでいたところ、1人の男性患者さんが「がん患者サロンやりませんか?」と訪ねてきました。その笑顔と行動力に勇気を頂き、平成22年5月にがん患者さまサロンを開設することができました。参加者の皆さんと相談し、名前も「たんぽぽ」に決まりました。“病気になつても負けないで、力強く咲こう”という思いが込められています。今までの活動では、最初の1時間は、一緒に音楽(草笛

やピアノ、歌、クラシックギターなど)を聴いたり、病気や生活についてのお話(がんのお話、栄養やリハビリ、おくすりのこと、リンパ浮腫についてなど)を聞いたりする場として、後半の1時間は茶話会として患者さん、ご家族同士が自由に語り合う場となっています。



定例開催日 奇数月第3水曜日 14:00 ~ 16:00
場 所 愛仁会リハビリテーション病院8階会議室
対 象 高槻病院に入院または通院中のがん患者さんなどなたでも(ご家族も可)
問い合わせ先 高槻病院がん相談支援センター
TEL 072-681-3801 内線2061

※事前申し込みがなくても参加できます。

※日時、場所、内容については高槻病院ホームページに掲載していますので事前にご確認下さい。
<http://www.takatsuki.aijinkai.or.jp/cancer/patient/index.html>

藤村 紫 院長

いつでも気軽に なんでも相談しにいける 診療所をめざして



開院の経緯

前院長である父が徳島大学泌尿器科助教授を退職し、昭和59年に「赤ひげ先生」を目指し高槻の地に開業いたしました。私は平成4年に大阪医科大学

第一内科教室に入局し、糖尿病代謝グループの一員として大学病院、枚方市民病院、阪和住吉総合病院での糖尿病外来をしながら、平成7年より藤村診療所でも勤務を始め、平成20年より父の後をついで院長となりました。

診療所の特徴

私とスタッフにとって、患者さんは家族と同じです。糖尿病を中心とした生活習慣病をはじめとする内科疾患はもちろんですが、専門の医療に偏ることなく患者さんのお身体全体を診させて頂くことを目標に、患者さんからお話を十分伺うことから診療は始ります。皮膚が荒れた、足がしびれる、膝が痛い、おしゃたなど患者さんの症状は多岐にわたります。一人一人の慢性疾患の病状、現在の症状、抱える背景などを考えながら、日々を快適にお過ごし頂けるよう導くことがかかりつけ医としての私の役目だと思っています。

また、ご家族全員の健康管理をさせて頂いているため、お母さんが子供さんの、子供さんが

患者さんの病状を把握し、健康管理をさせて頂くためには、私一人の力では不可能です。専門医の診察、検査などをしっかりと受けて頂いて、それを元に私が総合判断をしていく必要があります。そのために、高槻病院でのオープン検査は予約、検査がスムーズで良いシステムであり、毎日のように手軽に利用させて頂いております。

ただ、最近は人々の医療への関心が高く、結果を専門医の先生のお言葉で伺いたいとおしゃる患者さんも多いため、検査後の外来受診をお願いする事も増えております。

患者さんは高槻病院の先生と、私の二人主治医制であるという感覚にあり、それによって不安なく毎日を過ごす事が出来ておられますので、とても有難く思っております。

また、大きな病院の予約外来と違いかかりつけ医の敷居はとても低く、検査後患者さんはそのまま結果の報告に来られたり、入院中病状が変化

お母さんの症状のご相談に来られることもあります。ご家族が抱えておられるお悩みも一緒に考え支えていく地域に密着した医療者を目指し、いつも気軽になんでも相談しにいける藤村先生であり続けたいと思います。

当院への要望

患者さんの病状を把握し、健康管理をさせて頂くためには、私一人の力では不可能です。専門医の診察、検査などをしっかりと受けて頂いて、それを元に私が総合判断をしていく必要があります。そのために、高槻病院でのオープン検査は予約、検査がスムーズで良いシステムであり、毎日のように手軽に利用させて頂いております。

ただ、最近は人々の医療への関心が高く、結果を専門医の先生のお言葉で伺いたいとおしゃる患者さんも多いため、検査後の外来受診をお願いする事も増えております。

藤村先生、お忙しい中、快くインタビューをお受けいただきありがとうございました。先生はとても気さくな雰囲気でお話いただきました。患者さんの立場にたち診療されていましたが、地域の患者さんにとつて、とても心強い存在であると思いました。また、患者さんが理解されるまで、繰り返し

したというご家族からのご連絡もすぐにございます。その際、連絡をさせて頂いても迅速に対応頂ける先生方や地域医療部の方々にいつも感謝しております。



病状、検査結果の説明をされた
いる先生のお人柄に感銘いた
しました。
今後もよりよい医療連携の
充実が図れるよう努めて参
りますのでよろしくお願いい
たします。

地域医療部 道正・内藤

藤村診療所

〒569-0053 高槻市春日町2-37

TEL.072-672-1331

【診療内容】内科

【診療時間】午前9時～12時 午後4時～6時

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	×	○	×	○	×

※午前診(9:00～12:00)の受付は8時30分～11:45まで

※午後診(16:00～18:00)の受付は15時45分～17:45まで

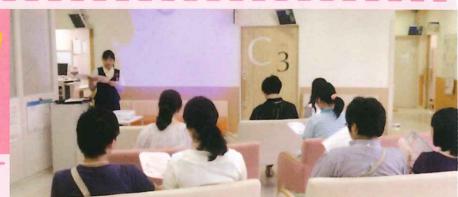
休診日／火午後・木・土午後・日・祝



Come on! Baby ツアー

ご参加お待ちしています

旧館5階病棟 助産師 山上 純子



今年度から2カ月に1回のペースで、「Come on! Baby ツアー」と称して、分娩施設を検討中の妊婦さんやこれから妊娠を考えている女性とそのご家族を対象に、高槻病院での産科外来・病棟の様子や産後ケアについて紹介しています。

第5回は1月31日に開催しました。妊婦さんに安心して高槻病院で妊婦健診・分娩に臨んでいただけるようなプログラムについてはいます。具体的な内容は、助産師による

高槻病院での産前・分娩・産後・育児へのサポートについて説明後、ビデオで分娩の様子を見て頂き、次に事務員から分娩費用について



の説明、また産婦人

科外来・産科病棟(陣痛室・分娩室・LDR・ベビー室・病室等)を見学し、最後に病院内のタリーズコーヒーで販売しているノンカフェインコーヒー(デカフェ)を試飲していただきながら質問に答えています。

毎回好評で、20名前後の方に参加をいただいており、「一緒に回るスタッフも助産師だったので、出産について具体的な不明点も聞くことができて安心できた」等の意見をいただいている。

参加は無料ですので是非お気軽にお申し込みください。次回の開催は5月を予定しておりますので、詳しくは高槻病院ホームページ(<http://www.takatsuki-ajinkai.or.jp/>)をご覧ください。

小学生 お仕事体験事業 に参加しました

看護部広報委員 大藪 裕子

地域の未来を創る子どもたちに様々な仕事を体験してもらい、楽しさや厳しさ、感謝されることを気付き、学んで欲しいという目的で、市内の小学校で様々な職業による「お仕事体験事業」が企画されました。高槻病院からも看護師が子どもたち向けに病院や看護師の仕事を紹介し、実技指導を行いました。

子どもたちから「看護師のやりがいは?」「一番しんどいと思うことは?」などの質問があり、看護師の仕事を身近に感じてもらう機会となりました。看護師を目指すきっかけとなれば幸いです。
(この様子は高槻市ホームページ『街フォト』でも紹介されています)



INFORMATION

糖尿病公開講座

●4月10日(金)15時~16時

『糖尿病とは?』

担当: 船曳医師

場所: 愛仁会リハビリテーション病院8F第2会議室

●4月24日(金)15時~16時

『糖尿病性腎症ってなに?』

担当: 透析看護師

場所: 愛仁会リハビリテーション病院8F第2・3会議室

●5月15日(金)15時~16時

『おやつ・アルコール・外食の仕方』

担当: 栄養士

場所: 愛仁会リハビリテーション病院8F第2・3会議室

●5月29日(金)15時~16時

『お薬について』

担当: 薬剤師

場所: 愛仁会リハビリテーション病院8F第2・3会議室

社会医療法人 愛仁会 高槻病院

■高槻病院の理念「患者さまの満足する医療」

■患者さまの権利

- 1.患者さま個人の人格や価値観が尊重され、医療者との信頼関係の下で、良質で安全・公正な医療を適切に受ける権利があります。
- 2.病気の診断・治療・予後などに関して、その効果や危険性、または他の方法の有無について、理解できるようにわかりやすい説明を受ける権利があります。
- 3.理解できるわかりやすい説明を受けたのち、検査の語呂や治療法の選択などについて自分で決定する権利があります。

■患者さまの責務

- 1.患者さま自らの健康状態に関する情報をできるだけ正確に医療者に伝える責務があります。
- 2.病気の診断・治療・予後などに関して、理解できるまで質問をする責務があります。
- 3.すべての患者さまが良質で安全な医療を適切に受けることができるよう、他の患者さまの診療や病院の医療提供に支障をきたさないように配慮する責務があります。

愛仁会リハビリテーション病院 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号 ☎072-683-1212
しんあい病院 〒569-1123 高槻市芥川町2丁目3番5号 ☎072-681-5533
しんあいクリニック 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番3号 ☎072-668-5000
愛仁会高槻在宅サービスセンター 〒569-1116 高槻市白梅町5番7号

訪問看護ステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1876
ケアプランセンター愛仁会高槻 ☎072-686-1882

ケアプランセンターーケーアイ ☎072-687-2536

ケアプランセンター愛仁会富田 ☎072-692-2941

しんあいケアプランセンター ☎072-680-3000

ヘルパーステーション愛仁会高槻 ☎072-686-1875

ヘルパーステーション愛仁会富田 ☎072-692-2941

介護老人保健施設ケアアイ 〒569-1051 高槻市大字原112番地 ☎072-687-0103

介護老人保健施設しんあい 〒569-1035 高槻市西之川原2丁目46番1号 ☎072-680-3000

愛仁会総合健康センター 〒569-1143 高槻市幸町4番3号 ☎072-692-9291

愛仁会看護助産専門学校 〒569-1115 高槻市古曾部町1丁目3番33号 ☎072-681-6031